



WE21 ジャパンこうほく ニュース

認定特定非営利活動法人WE21 ジャパンこうほくは リユースリサイクルのお店「WEショップこうほく」をボランティアで運営し、その収益でアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう民衆支援活動をしています。

発行 NPO法人WE21 ジャパンこうほく 港北区日吉 2-12-7 TEL/FAX 045-563-1808 2015年9月

<http://we21kk.org>

WE21 ジャパンこうほく



NO. 116

津波と原発事故による2重の苦しみを受け続けている福島の実

「3.11を忘れないためにも一度現地を訪れてみたい」そんな気持ちで福島ツアーを企画し、運営委員をはじめ、ボランティア、お客さまにも呼び掛けて、24人のバスツアーが実現しました。参加された方の想いを紹介します。

**3.11を忘れない
No. 2**



富岡が教えてくれたもの

黒い大きなゴミ袋の山積み、除染中・除染完了とかかれた家々の表示とテープ、行き交うトラック、私達は少し緊張しながらバスから降りた。

「通行制限中 この先 帰宅困難区域につき 通行止め」
原子力災害現地対策本部 富岡町

静まり返った街、目の前はバリケードで足を踏み入れることも出来ないのだ。誰も言葉が出ない。

本当なら、この地には笑い声や、こどもの遊び声があるはずなのに。こみあげてくるのは、涙と虚しさだけ。そして絶望とも思えるため息。そこには、様々な人々の生活があった。あるではなくあったという言葉が正しいだろう。

案内の猪狩さんが言った。「隠された政治的な意図がいっぱいある。昨日まで仲良しだった隣り同士が、保証金で差をつけられ、夜逃げのように引越さなければならぬ。助けないのに進入禁止で見捨てざるをえなかった無念と毎晩の悪夢。結婚・就職の差別。同級生が、今どこで何をしているのかほとんどわからないんです・・・」

人の数だけ、家族の数だけストーリーがそこにあった。普通にそこに帰れば会えたであろう友人や家族、当たり前前の生活がないこと、ふるさとに帰ることができない悔しさ、これは何十年続くのであろうか。

「貴方ならどう考えどう行動しますか？」そう突きつけられた気がした。

まずは単純に伝えたい。「原発は危険である、人間の心と体、生活そのものを破壊させる、だから二度と同じことを繰り返してはならない。」と・・・

泉 由香

リピーターになっちゃおう！？

この度の、WE21の方々との福島行きは大変意義深いものでした。

まず、行き帰りのバスの中などで、被災地に対し真摯な思いをお持ちのみなさまの声を聞いたこと。震災から4年以上が過ぎ、被災地に関心を寄せる人たちが日々減少する中、皆様の真剣で温かい思いは大変うれしく、励みにもなりました。

また、ガイドさんの説明を聞いたのもとても良かったです。

「原発建設から事故後と、国や行政が一体何を守り、誰のために働いてくれているのか・・・

一番守るべき人々を守らず、分断し、傷つけている」ということが今まで以上に良くわかりました。

福島の人たちが、ずっと抱えている憤り、無念さ、悲しみを少しでも理解したいです。

反面、ガイドさんや仮設商店街の方たちの明るさ、逞しさに惹かれました。

又いつかお会いしたい、元気でいて欲しいと願うのは私だけではないでしょう。

単に福島が好きなのかもしれませんがこうして、私は福島通い、リピーターに・・・

葛西 直美(ままとま 代表)

*横浜のママ達から東北のママ達・子ども達へ支援物資を送り続けている団体で、WEショップこうほくのお客さんでもあります。



8/19-21 に計 4 回報告会を 2 ショップで開催しました。新たに 17 名の方へ福島の実状を伝えることができました。

現地の写真をパソコンに映し出し、丁寧な状況説明があり解り易かったと思います。参加者からは、やはり原発のことが話題になりました。中でも原発作業員が着用した汚染防護服が大量に溜まっているのに、その事実が隠されていること。汚染土を詰めた山積みのフレコンバッグが野ざらし状態。補償金に至っては不公平極まりないことなど。「3.11を忘れない」の言葉の重さと、活動の継続を再確認した機会となりました。 田中良江 (9月21日、大倉山店に於いて)

貧困なくそうキャンペーン 2015 に今年も取り組みます。

世界食料デー10/16・貧困撲滅のための国際デー10/17 に合わせて WE21 グループでは「貧困なくそうキャンペーン」を開催して世界の貧困問題に目を向ける期間としています。WE21 ジャパンこうほくは、カンボジアで活動をしているシーライツ(認定 NPO 法人・国際子ども権利センター)と CAE(The Center for Actions towards Equality)を支援し、16日(金)の両店の売り上げと 17日(土)のふるさと港北ふれあいまつりのブースの売り上げ全額をカンボジア支援の二つの団体に寄付します。

CAE の活動報告会を開きました。8/25(火)10:30-12:30@社協 3F 団体交流室 I

キャンペーンのプレ学習会として、8月25日にカンボジアから一時帰国している CAE 副代表の上田美紀さんを迎えて現地報告会を持ちました。上田さんはカンボジア在住 13 年。カンボジア男性と家庭を持たれ、「人生 60 年」という日本人とは違う時間軸を持つカンボジアの人々の人生観、人生設計に考えさせられることも多いそうです。

昨年シーライツから独立して CAE を新設されました。農業組合を支援することで地域開発をして平等な生活向上と経済発展、村民の自立を目指しています。子どもの権利を守る啓蒙活動をしているシーライツとは両輪の輪となって村の人々の生活改善を図る働きをしています。

CAE の支援方法は、支援組織がお手本を示した後で住民に引き継いでいく従来の形ではなく、初めから住民の手による自立した組織として立ち上げ、住民相互の協力関係作り、次世代に向けて人材の育成、農業の組織運営等の強化を目指しています。

貧しさのために出稼ぎに出る子ども達には様々な困難が待ち受けています。村の人たちが村の中で働き生活できるように、子ども達を出稼ぎに出さなくても済むように、こうほくではこの事業を応援します。

みなさまもキャンペーン期間中の募金やお買い物にぜひご協力下さい。



いわきスカイストアの物品を 両店で販売しました。

ふくしまツアー（表面参照）で訪れたいわき市にあるスカイストアの商品をいくつか取り寄せて、大倉山・日吉両店で販売しながら「3.11 を忘れない」を呼びかけました。オリーブの葉を練り込んだパスタや、梨のグラッセなど、いわき自慢の品々です。売れ行きは上々でした。

イベント参加情報

日吉フェスタ

10月3日(土)12:00-17:00
慶応義塾大学日吉キャンパス

ふるさと港北ふれあいまつり

10月17日(土)9:30-14:30 ※雨天順延
新横浜駅前公園 少年野球場



着物市開催予告！

大倉山店 11月11日(水)~14(土)
日吉店 11月17日(火)~20(金)



シーライツ報告会

10月8日(木)14:00-16:00
港北区社会福祉協議会 団体交流室 I
(大倉山下車徒歩6分)

講演者：シーライツ代表 甲斐田万智子さん
現地の今の様子と、子どもの人権について学ぼう
ワークショップを行います。ぜひご参加下さい。



日吉店オープン5周年 記念感謝セール開催

10月13日(火)~17日(土)
全品半額

※一部対象外がございます。ご了承ください。

寄付や買い物をして下さる方、また、
ショップのボランティアをして下さる方、
多くの方に支えられての5周年です。

買い物をされた方には感謝の気持ちを込め
て、ささやかなプレゼントを用意しました。